

年間授業計画

雪谷 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1～7組：雁尾）

使用教科書：（高等学校 新地理総合（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的な考察や深い理解をするために、意欲的に学習に取り組む姿勢を身に付ける。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。 ○地図やGISなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	○地形の形成要因や災害への対策、各気候ごとの人々の工夫等を諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。 ○時差やGISがどのように活用されているか等について諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。 ○気候、宗教歴史的背景や産業等がそれぞれの地域の生活とどのように関わっているのか諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。	○世界の各地形や気候、日本の災害や防災について意欲的に学ぶ。 ○時差、地図、GISや日本の領域等について意欲的に学ぶ。 ○世界の諸地域と気候、宗教、歴史的背景や産業等との関わりについて意欲的に学ぶ。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
			知	思	態	
単元 世界の地形と人々の生活 【知識及び技能】 各地形とそれぞれの地形が人々の生活に与える影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各地形の形成要因を諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 各地形が与える影響について意欲的に学ぶ。	・指導事項 ・大地形と人々の生活 ・変動帯と人々の生活 ・安定地域と人々の生活 ・河川がつくる地形と人々の生活 ・海岸の地形と人々の生活 ・氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活 ・教材 ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 各地形とそれぞれの地形が人々の生活に与える影響を理解することができている。 【思考・判断・表現】 各地形の形成要因を諸資料やグループワーク等をもとに考察し、判断・表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各地形が与える影響について意欲的に学ぶことができている。	○	○	○	7
単元 自然環境と防災 【知識及び技能】 日本で発生する自然災害、またその発生要因について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各災害に対してどのような対策が必要か諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本で発生する災害、またその対策について意欲的に学ぶ。	・指導事項 ・地震・津波と防災 ・火山災害と防災 ・気象災害と防災 ・教材 ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 日本で発生する自然災害、またその発生要因について理解することができている。 【思考・判断・表現】 各災害に対してどのような対策が必要か諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本で発生する災害、またその対策について意欲的に学ぶことができている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
単元 世界の気候と人々の生活 【知識及び技能】 各気候区の分布や特徴を人々の生活との関わりを踏まえて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各気候ごとの農業や人々の生活の工夫等を諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 各気候の特徴や気候ごとの人々の生活について意欲的に学ぶ。	・指導事項 ・気温・降水と人々の生活 ・大気循環と人々の生活 ・熱帯の生活 ・乾燥帯の生活 ・温帯の生活 ・亜寒帯・寒帯の生活 ・教材 ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 各気候区の分布や特徴を人々の生活との関わりを踏まえて理解することができている。 【思考・判断・表現】 各気候ごとの農業や人々の生活の工夫等を諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各気候の特徴や気候ごとの人々の生活について意欲的に学ぶことができている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1

年間授業計画

雪谷 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史

科目：歴史総合

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（1組：山里）（3・4組：田口）（2・5・6・7組：寺崎）

使用教科書：（現代の歴史総合 みる・読みとく・考える（山川出版社））

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的な考察や深い理解をするために、意欲的に学習に取り組む姿勢を身に付ける。

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○アジアと欧米の近代化について理解する。 ○二つの大戦による国際秩序の変化やそれに伴う大衆への影響について理解する。 ○冷戦やその後のグローバル化の各国への影響と現代の課題について、考察し、理解する。	○アジアと欧米の近代化について、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。 ○二つの大戦による国際秩序の変化やそれに伴う大衆への影響について、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。 ○冷戦やその後のグローバル化の各国への影響と現代の課題について、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。	○アジアと欧米の近代化について意欲的に学ぶ。 ○二つの大戦による国際秩序の変化やそれに伴う大衆への影響について意欲的に学ぶ。 ○冷戦やその後のグローバル化の各国への影響と現代の課題について意欲的に学ぶ。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 1学期 単元 近代化と私たち 1、結びつく世界と日本の開国 【知識及び技能】 アジア諸地域の発展と日本の関わりについて、経済的な面から多角的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の開国とヨーロッパの動きの関連性について、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米と日本の近代化について様々な観点から意欲的に学ぶ。	○指導事項 18世紀の東アジアにおける社会と経済、貿易が結んだ世界と日本、産業革命、中国の開港と日本の開国 ○教材 教科書、現代の歴史総合ノート、現代の歴史総合要点整理テスト、明解歴史総合図説シンフォニア、一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 アジア諸地域の発展と日本の関わりについて、経済的な面から多角的に理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の開国とヨーロッパの動きの関連性について、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米と日本の近代化について様々な観点から意欲的に学ぶことができる。	○	○	○	13
単元 近代化と私たち 2、国民国家と明治維新 【知識及び技能】 明治維新と当時の国際関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 明治維新と欧米の関りについて、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 既存の知識から明治維新や帝国主義、植民地などについてから意欲的に学ぶ。	○指導事項 市民革命、国民国家とナショナリズム、明治維新、日本の産業革命、帝国主義、変容する東アジアの国際秩序、日露戦争と東アジアの変動 ○教材 教科書、現代の歴史総合ノート、現代の歴史総合要点整理テスト、明解歴史総合図説シンフォニア、一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 明治維新と当時の国際関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 明治維新と欧米の関りについて、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 既存の知識から明治維新や帝国主義、植民地などについてから意欲的に学ぶことができる。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1

2 学期	<p>単元 国際秩序の変化や大衆化と私たち 3、総力戦と社会運動</p> <p>【知識及び技能】 一次大戦から戦間期における国際情勢の変化やそれに伴う人々の生活への影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 一次大戦が起きた理由を経済面・政治面から諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 一次大戦が大衆に与えた影響を意欲的に学ぶ。</p>	<p>○指導事項 第一次世界大戦の展開、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ヴェルサイユ体制とワシントン体制、世界経済の変容と日本、アジアのナショナリズム、大衆の政治参加、消費社会と大衆文化</p> <p>○教材 教科書、現代の歴史総合ノート、現代の歴史総合要点整理テスト、明解歴史総合図説シンフォニア、一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 一次大戦から戦間期における国際情勢の変化やそれに伴う人々の生活への影響について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 一次大戦が起きた理由を経済面・政治面から諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 一次大戦が大衆に与えた影響を意欲的に学ぶことができる。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	<p>単元 国際秩序の変化や大衆化と私たち 4、経済危機と第二次世界大戦</p> <p>【知識及び技能】 第二次世界大戦前後の国際秩序と日本の民主的な改革について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦前後の国際秩序の変化や日本の民主的な改革について、グループワークを通じて考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 大戦の時代が大衆に与えた影響を意欲的に学ぶ。</p>	<p>○指導事項 世界恐慌の時代、ファシズムの伸長と共産主義、ファシズムの伸長と共産主義、日中戦争への道、第二次世界大戦の展開、第二次世界大戦下の社会、国際連合と国際経済体制、占領と戦後改革、冷戦の始まりと東アジア諸国の動向、日本の独立と日米安全保障条約</p> <p>○教材 教科書、現代の歴史総合ノート、現代の歴史総合要点整理テスト、明解歴史総合図説シンフォニア、一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 第二次世界大戦前後の国際秩序と日本の民主的な改革について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦前後の国際秩序の変化や日本の民主的な改革について、グループワークを通じて考察し、判断・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 大戦の時代が大衆に与えた影響を意欲的に学ぶことができる。</p>	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
3 学期	<p>単元 グローバル化と私たち 5、冷戦と世界経済</p> <p>【知識及び技能】 冷戦やその後のグローバル化の各国への影響と現代の課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦の流れを諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代における世界や日本の課題とその解決策について意欲的に調査する。</p>	<p>○指導事項 冷戦下の地域紛争と脱植民地化、東西両陣営の動向と1960年代の社会、軍拡競争から緊張緩和へ、地域連携の形成と展開、計画経済とその波及、日本の高度経済成長、アジアのなかの戦後日本</p> <p>○教材 教科書、現代の歴史総合ノート、現代の歴史総合要点整理テスト、明解歴史総合図説シンフォニア、一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 冷戦やその後のグローバル化の各国への影響と現代の課題について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦の流れを諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代における世界や日本の課題とその解決策について意欲的に調査することができる。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
合計							
70							

雪谷 高等学校 令和8年度(2学年用) 教科

地理歴史 科目 日本史探究

教科: 地理歴史 科目: 日本史探究

単位数: 3 単位

対象学年組: 第 2 学年 A組・C組

教科担当者: (田口)

使用教科書: (日本史探究 詳説日本史 (山川出版社))

教科 地理歴史 の目標:

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的な考察や深い理解をするために、意欲的に学習に取り組む姿勢を身に付ける。

科目 日本史探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解する。 ○諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	○我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。 ○歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元 近世から近代へ 【知識及び技能】 幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の掃討に至るまでの経過を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 江戸から明治に移り変わる過程を意欲的に学ぶ。 定期考査	・指導事項 ・開国と幕末の動乱 ・幕府の滅亡と新政府の発足 ・教材 ・詳説 日本史 ・日本史通覧 ・ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	単元 近代国家の成立 【知識及び技能】 明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 政府の強力な中央集権体制への志向のもとで、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 近代国家成立の過程を意欲的に学ぶ。 定期考査	・指導事項 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立 ・教材 ・詳説 日本史 ・日本史通覧 ・ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 国内体制を欧米の水準に合わせるものが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 明治維新が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
2 学期 (中間)	単元 近代国家の展開 【知識及び技能】 不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争、日露戦争、第一次世界大戦に至る経緯について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について意欲的に学ぶ。 定期考査	・指導事項 ・日清、日露戦争と国際関係 ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制 ・教材 ・詳説 日本史 ・日本史通覧 ・ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 議院が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 社会運動の動向、政党内閣制の成立に至る過程を、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1

2 学 期 (期 末)	<p>単元 近代の産業と生活</p> <p>【知識及び技能】 日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 近代産業の発展にともなう社会問題(労働問題・公害問題)の発生と政府の対応について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 近代の産業と生活について意欲的に学ぶ。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 近代産業の発展 近代文化の発達 市民生活の変容 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳説 日本史 日本史通覧 ウイニングコンパス <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 近代の産業と生活について主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>単元 恐慌と第二次世界大戦</p> <p>【知識及び技能】 日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究する。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳説 日本史 日本史通覧 ウイニングコンパス <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 戦争がアメリカやイギリスなどの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
							合計
							105

雪谷 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科： 地理歴史 科目： 世界史探究 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 1～6組の世界史選択者、7組

教科担当者： 関東

使用教科書：（世界史探究 詳説 世界史（山川出版社））

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける。
地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察
- 【思考力、判断力、表現力等】 したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的な考察や深い理解をするために、意欲的に学習に取り組む姿勢を身に付ける。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関する諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関する事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元 文明の成立 【知識及び技能】 文明が生まれるために必要だった条件を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古代文明が発展した理由を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 文明の誕生 古代オリエント文明とその周辺 中国の古代文明 ・教材 詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文明の誕生について、自分が抱いた疑問に取り組もうとしている。	○	○	○	10
単元 中央アジアと東アジア 【知識及び技能】 漢の支配体制を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。	・指導事項 中央ユーラシア——草原とオアシスの世界 秦・漢帝国 ・教材 詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 統一国家の支配体制について、それまでの時代と比較したうえで理解している。 【思考・判断・表現】 統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 秦・漢帝国について、自分が抱いた興味にそって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
1 学期 単元 南アジア世界と東南アジア世界の展開 【知識及び技能】 仏教やヒンドゥー教などを中心とした文化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 南・東南アジアの風土や地形をふまえたうえで、中国との関係やその変遷を多面的・多角的に考察・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。	・指導事項 仏教の成立と南アジアの統一国家 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 東南アジア世界の形成と展開 ・教材 詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 南・東南アジアの文化の相違点を理解している。 【思考・判断・表現】 南・東南アジアの風土や地形の特性を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 南・東南アジアについて、自分が抱いた興味にそって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
単元 西アジアと地中海周辺の国家形成 【知識及び技能】 イラン諸国家や地中海沿岸の都市国家がどのように興亡したのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 オストロロンなどの考古学的資料や「ペリクレスの演説」などの資料をもとに、当時の社会の特徴を多面的・多角的に考察・表現す 定期考査	・指導事項 イラン諸国家の興亡とイラン文明 ギリシア人の都市国家 ローマと地中海支配 キリスト教の成立と発展 ・教材 詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 イラン諸国家や地中海沿岸の都市国家がどのように興亡したのかを理解している。 【思考・判断・表現】 考古学的資料をもとに、当時の社会の特徴を多面的・多角的に考察・表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 西アジア・地中海世界について、自分が抱いた興味にそって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>単元 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成</p> <p>【知識及び技能】 イスラーム教の成立や、西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響や、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴などを多面的・多角的に考察・表現する。</p>	<p>・指導事項 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ヨーロッパ世界の形成 イスラーム教の諸地域への伝播 西アジアの動向 ・教材 詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 イスラーム教の成立や、西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響や、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴などを多面的・多角的に考察・表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 古代ギリシアについて、自分が抱いた興味にそって学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>単元 ヨーロッパ世界の変容と展開</p> <p>【知識及び技能】 中世ヨーロッパの宗教や封建社会の仕組みを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパの自然条件と人の移動との関係について表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。</p>	<p>・指導事項 西ヨーロッパの封建社会とその展開 東ヨーロッパ世界の展開 西ヨーロッパ世界の変容 ・教材 詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 資料をもとにローマが地中海世界を統一した理由を表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 古代ギリシアについて、自分が抱いた興味にそって学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	<p>単元 アジアの諸帝国の繁栄</p> <p>【知識及び技能】 オスマン帝国、ムガル帝国、清朝の基礎がどのように形成されたかを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 図像資料や領域を示す地図などをもとに、近隣諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察・表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。</p>	<p>・指導事項 オスマン帝国とサファヴィー朝 ムガル帝国の興隆 清代の中国と隣接諸地域 ・教材 詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 オスマン帝国、ムガル帝国、清朝の基礎がどのように形成されたかを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 図像資料や領域を示す地図などをもとに、近隣諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察・表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 オスマン帝国、ムガル帝国、清朝の形成について、興味・関心にそって学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
<p>単元 近世ヨーロッパ世界の動向</p> <p>【知識及び技能】 近世ヨーロッパがどのようにして形成されたかを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 図像資料や領域を示す地図などをもとに、近隣諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察・表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。</p>	<p>・指導事項 ルネサンス 宗教改革 主権国家体制の成立 オランダ・イギリス・フランスの台頭 北欧・東欧の動向 科学革命と啓蒙思想 ・教材 詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 近世ヨーロッパがどのようにして形成されたかを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 図像資料や領域を示す地図などをもとに、近隣諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察・表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパ世界の形成について、興味・関心にそって学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10	
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>単元 産業革命と環大西洋革命</p> <p>【知識及び技能】 アメリカの独立、フランス革命、フランス革命を継承するナポレオン時代、ヨーロッパに影響を受けた中南米の動向を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 図像資料や領域を示す地図などをもとに、近隣諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察・表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。</p>	<p>産業革命 アメリカ合衆国の独立と発展 フランス革命とナポレオンの支配 中南米諸国の独立 ・教材 詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 アメリカの独立、フランス革命、フランス革命を継承するナポレオン時代、ヨーロッパに影響を受けた中南米の動向を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 図像資料や領域を示す地図などをもとに、近隣諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察・表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパ世界の形成について、興味・関心にそって学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>単元 イギリスの優位と欧米国民国家の形成、そして帝国主義</p> <p>【知識及び技能】 ウィーン体制後の欧米諸国、帝国主義時代のヨーロッパ、列強の世界体制について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 図像資料や領域を示す地図などをもとに、近隣諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察・表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。</p>	<p>・指導事項 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 アメリカ合衆国の発展 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 第2次産業革命と帝国主義 列強の世界分割と列強体制の二分化 ・教材 詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 ウィーン体制後の欧米諸国、帝国主義時代のヨーロッパ、列強の世界体制について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 図像資料や領域を示す地図などをもとに、近隣諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察・表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパ世界の形成について、興味・関心にそって学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
						合計	105

雪谷 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史

教科：地理歴史 科目：世界史 単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 1・3・4・5組の世界史選択者

教科担当者：関東

使用教科書：（世界史探求 詳説 世界史（山川出版社））

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察や深い理解をするために、意欲的に学習に取り組む姿勢を身に付ける。

科目 世界史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元 文明の成立 【知識及び技能】 文明が生まれるために必要だった条件を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古代文明が発展した理由を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。	・指導事項 文明の誕生 古代オリエント文明とその周辺 中国の古代文明 ・教材 詳説世界史探求 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文明の誕生について、自分が抱いた疑問に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	単元 中央アジアと東アジア 【知識及び技能】 漢の支配体制を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。	・指導事項 中央ユーラシア——草原とオアシスの世界 秦・漢帝国 ・教材 詳説世界史探求 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 統一国家の支配体制について、それまでの時代と比較したうえで理解している。 【思考・判断・表現】 統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 秦・漢帝国について、自分が抱いた興味にそって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	単元 南アジア世界と東南アジア世界の展開 【知識及び技能】 仏教やヒンドゥー教などを中心とした文化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 南・東南アジアの風土や地形をふまえたうえで、中国との関係やその変遷を多面的・多角的に考察・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。	・指導事項 仏教の成立と南アジアの統一国家 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 東南アジア世界の形成と展開 ・教材 詳説世界史探求 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 南・東南アジアの文化の相違点を理解している。 【思考・判断・表現】 南・東南アジアの風土や地形の特性を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 南・東南アジアについて、自分が抱いた興味にそって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	単元 西アジアと地中海周辺の国家形成 【知識及び技能】 イラン諸国家や地中海沿岸の都市国家がどのように興亡したのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 オストロコンなどの考古学的資料や「ペリクレスの演説」などの資料をもとに、当時の社会の特徴を多面的・多角的に考察・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。 定期考査	・指導事項 イラン諸国家の興亡とイラン文明 ギリシア人の都市国家 ローマと地中海支配 キリスト教の成立と発展 ・教材 詳説世界史探求 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 イラン諸国家や地中海沿岸の都市国家がどのように興亡したのかを理解している。 【思考・判断・表現】 考古学的資料をもとに、当時の社会の特徴を多面的・多角的に考察・表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 西アジア・地中海世界について、自分が抱いた興味にそって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
				○	○		1

	<p>単元 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成</p> <p>【知識及び技能】 イスラーム教の成立や、西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響や、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴などを多面的・多角的に考察・表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。</p>	<p>・指導事項 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ヨーロッパ世界の形成 イスラーム教の諸地域への伝播 西アジアの動向 ・教材詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 イスラーム教の成立や、西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響や、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴などを多面的・多角的に考察・表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 古代ギリシアについて、自分が抱いた興味にそって学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>単元 ヨーロッパ世界の変容と展開</p> <p>【知識及び技能】 中世ヨーロッパの宗教や封建社会の仕組みを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパの自然条件と人の移動との関係について表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 西ヨーロッパの封建社会とその展開 東ヨーロッパ世界の展開 西ヨーロッパ世界の変容 ・教材詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 資料をもとにローマが地中海世界を統一した理由を表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 古代ギリシアについて、自分が抱いた興味にそって学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>定期考査</p>			○	○		1
2 学 期	<p>単元 アジアの諸帝国の繁栄</p> <p>【知識及び技能】 オスマン帝国、ムガル帝国、清朝の基礎がどのように形成されたかを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 図像資料や領域を示す地図などをもとに、近隣諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察・表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。</p>	<p>・指導事項 オスマン帝国とサファヴィー朝 ムガル帝国の興隆 清代の中国と隣接諸地域 ・教材 詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 オスマン帝国、ムガル帝国、清朝の基礎がどのように形成されたかを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 図像資料や領域を示す地図などをもとに、近隣諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察・表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 オスマン帝国、ムガル帝国、清朝の形成について、興味・関心にそって学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>単元 近世ヨーロッパ世界の動向</p> <p>【知識及び技能】 近世ヨーロッパがどのようにして形成されたかを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 図像資料や領域を示す地図などをもとに、近隣諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察・表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 ルネサンス 宗教改革 主権国家体制の成立 オランダ・イギリス・フランスの台頭 北欧・東欧の動向 科学革命と啓蒙思想 ・教材 詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 近世ヨーロッパがどのようにして形成されたかを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 図像資料や領域を示す地図などをもとに、近隣諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察・表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパ世界の形成について、興味・関心にそって学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>定期考査</p>			○	○		1

雪谷 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史

教科：地理歴史 科目：日本史 単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 1組～7組

教科担当者：（2組：山里）（①：山里）（②：田口）

使用教科書：（高等学校 政治・経済（第一学習社））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】我が国及び世界の地理・歴史に関する基本的事項や概念を体系的に理解するとともに、各種の地図・統計・史資料などを適切に活用する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理的・歴史的事象の成り立ちや相互の関連を、時間的・空間的な視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理・歴史の学習を通して、現代社会の諸課題に主体的に関わろうとする態度を養い、持続可能な社会の実現に向けた視点や態度を育成する。

科目 日本史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・我が国の歴史の展開について、時代ごとの特色や連続性を理解する。 ・史資料を読み取り、歴史的事象を具体的に把握する技能を身に付ける。	・歴史的事象の因果関係や変化・継続を多面的・多角的に考察する。 ・時代の特徴を比較・関連付けて説明・表現する力を養う。	・歴史の学びを通じて現代社会との関わりを主体的に考え、課題解決へ向かう態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	評価			配当 時数
				知	思	感	
1 学 期	単元① 古代国家の形成（弥生～奈良） 【知識・技能】 ・ムラからクニへの発展、ヤマト政権の成立、律令国家体制を理解する。 ・木簡・碑文・中国史書などの史料を読み取る技能を養う。 【思考・判断・表現】 ・国家形成の背景（農耕・対外関係）と律令体制の意義を考察する。 ・東アジア世界との関係から日本の古代国家の特徴を説明する。 【主体的態度】 ・国家成立過程を現代の国家形成と関連付けて考えようとする。	指導項目 ・弥生文化と小国家の形成 ・邪馬台国と卑弥呼 ・ヤマト政権と大王 ・大化改新・律令国家成立 ・平城京と天平文化 教材 ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	知識・理解 律令国家成立の過程やヤマト政権の展開、東アジアとの関係について、史料に基づき理解している。 思考・判断・表現 国家形成の背景や律令体制の意義について、対外関係や社会構造と関連付けて多面的に考察し、適切に表現している。 主体的態度 古代国家の成立過程に関心をもち、現代国家との比較を通して主体的に探究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	単元② 貴族政治と国風文化（平安） 【知識・技能】 ・摂関政治・院政・荘園制の仕組みを理解する。 【思考・判断・表現】 ・中央貴族政治の安定と地方支配の変化を関連付けて考察する。 【主体的態度】 ・文化史（国風文化）を主体的に捉え、その特色を説明しようとする。	・指導事項 平安遷都と律令体制の変質 摂関政治と藤原氏 院政 荘園制の発達 国風文化（文学・美術） 教材 ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	知識・理解 摂関政治・院政・荘園制の仕組みや国風文化の特色について理解している。 思考・判断・表現 貴族政治の変容と地方支配の弱体化の関係を考察し、政治と社会の変化を関連付けて説明している。 主体的態度 平安時代の政治・文化に関心をもち、主体的に資料を読み取り理解を深めようとしている。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
2 学 期	単元③ 武家政権の成立（鎌倉～南北朝） 【知識・技能】 ・武士の成立、鎌倉幕府の政治機構を理解する。 【思考・判断・表現】 ・武家政権成立の背景（荘園制・武士団）を論理的に説明する。 【主体的態度】 ・封建制の仕組みを主体的に比較・理解しようとする。	・指導事項 武士の成長 鎌倉幕府と御恩・奉公 執権政治 元寇と社会変動 南北朝動乱 教材 ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	知識・理解 武士の成立過程や鎌倉幕府の政治制度、封建制度の仕組みについて理解している。 思考・判断・表現 武家政権成立の要因を、荘園制や武士団の成長と関連させて論理的に考察し、表現している。 主体的態度 中世社会の成立に関心をもち、政治・社会構造の特徴を主体的に考察しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>単元④ 室町社会と戦国時代</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室町幕府の支配構造と地方支配を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守護権力の拡大と下克上の関係を考察する。 <p>【主体的態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会構造の変動を主体的に読み取る態度を養う。 	<p>・指導事項</p> <p>室町幕府 守護・守護大名 応仁の乱 戦国大名 自治村落</p> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等 	<p>知識・理解</p> <p>室町幕府の政治構造や守護大名の支配、戦国時代の特徴を理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>応仁の乱以後の社会変動を踏まえ、下克上や地域支配の変化を多面的に考察し説明している。</p> <p>主体的態度</p> <p>社会の変動に関心を持ち、歴史的变化を主体的に捉えようとしている。</p>	○	○	○	20
	<p>単元⑤ 近世国家の形成（織豊～江戸初期）</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天下統一政策と幕藩体制の基礎を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統一政権の政策と社会統制の意味を考察する。 <p>【主体的態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治統一の意義を主体的に評価しようとする。 	<p>・指導事項</p> <p>織田信長 豊臣政権（太閤検地・刀狩） 江戸幕府成立 幕藩体制</p> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等 <p>◆諸課題へのアプローチ 「少子高齢社会における社会保障の充実・安定化/多様な働き方・生き方を可能にする社会」</p>	<p>知識・理解</p> <p>織豊政権の統一政策と江戸幕府成立、幕藩体制の基礎を理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>統一政権の政策が社会統制や身分秩序の形成に与えた影響を考察し、表現している。</p> <p>主体的態度</p> <p>国家統一の意義について関心を持ち、歴史的評価を主体的に考察しようとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	<p>単元⑥ 近世社会の展開と動揺（江戸中後期）</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品経済・農業発展・文化の特徴を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済発展が社会構造に及ぼす影響を説明する。 <p>【主体的態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会変動と改革の関連を主体的に考える。 	<p>・指導事項</p> <p>農業・商業の発展 元禄・化政文化 幕政改革（享保・寛政・天保） 社会不安と百姓一揆</p> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等 	<p>知識・理解</p> <p>商品経済の発展、農業技術の進展、幕政改革の内容について理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>経済の発展と社会構造の変化、幕府の改革の限界について因果関係を踏まえて考察し表現している。</p> <p>主体的態度</p> <p>社会変動や民衆の動きに関心を持ち、主体的に歴史を捉えようとしている。</p>	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
3 学 期	入試対策	入試対策講座 教材問題集プリントなど			○	○	16
	合計						
140							

雪谷 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史演習

教科：地理歴史 科目：世界史演習 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 7組

教科担当者：関東

使用教科書：（世界史探求 詳説 世界史（山川出版社））

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察や深い理解をするために、意欲的に学習に取り組む姿勢を身に付ける。

科目 世界史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	単元 文明の成立 【知識及び技能】 文明が生まれるために必要だった条件を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古代文明が発展した理由を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 文明の誕生 古代オリエント文明とその周辺 中国の古代文明 ・教材 詳説世界史探求 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 諸地域の歴史的特質を読み解く視点について考察し、問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文明の誕生について、自分が抱いた疑問に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	単元 中央アジアと東アジア 【知識及び技能】 漢の支配体制を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。	・指導事項 中央ユーラシア——草原とオアシスの世界 秦・漢帝国 ・教材詳説世界史探求 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 統一国家の支配体制について、それまでの時代と比較したうえで理解している。 【思考・判断・表現】 統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 秦・漢帝国について、自分が抱いた興味にそって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元 西アジアと地中海周辺の国家形成 【知識及び技能】 イラン諸国家や地中海沿岸の都市国家がどのように興亡したのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 オストロコンなどの考古学的資料や「ペリクレスの演説」などの資料をもとに、当時の社会の特徴を多面的・多角的に考察・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。	・指導事項 イラン諸国家の興亡とイラン文明 ギリシア人の都市国家 ローマと地中海支配 キリスト教の成立と発展 ・教材詳説世界史探求 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 イラン諸国家や地中海沿岸の都市国家がどのように興亡したのかを理解している。 【思考・判断・表現】 考古学的資料をもとに、当時の社会の特徴を多面的・多角的に考察・表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 西アジア・地中海世界について、自分が抱いた興味にそって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	【入試対策演習】 世界史全範囲について、各大学の過去問題を用いて演習を行い、既習事項の定着と応用力の強化を図る。	【指導事項】 互いに教え合うことにより学力向上を図る。 【教材】 対策プリント 【指導の工夫】 ・一人1台端末の活用 ・単元テストによる評価	【知識及び技能】 既習内容が定着している。 【思考力、判断力、表現力等】 新出事項を既習事項と結びつけることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 難解な問題にも粘り強く挑戦する姿勢が見られる。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1	

雪谷 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 地理探究

教科： 地理歴史 科目： 地理探究 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （1～7組：雁尾）

使用教科書： （新詳地理探究（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的な考察や深い理解をするために、意欲的に学習に取り組み姿勢を身に付ける。

科目 地理探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解する。 ○地図やGISなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	○地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	○地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養う。 ○世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元 資源と産業 【知識及び技能】 各資源やそれぞれの産業の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各資源分布やそれぞれの産業の形成要因等を諸資料の読み取り等を通して考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 各資源やそれぞれの産業について主体的に探究する態度を養う。	○指導事項 ・農林水産業 ・食料問題 ・エネルギー・鉱産資源 ・資源・エネルギー問題 ・工業 ・第3次産業 ○教材 ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 各資源やそれぞれの産業の特徴を理解することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 各資源分布やそれぞれの産業の形成要因等を諸資料の読み取り等を通して考察し、判断・表現することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 各資源やそれぞれの産業について主体的に探究できている。	○	○	○	10
単元 交通・通信と観光、貿易 【知識及び技能】 交通・通信、観光、貿易の特徴や傾向性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 交通・通信、観光、貿易等を諸資料の読み取り等を通して考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 交通・通信、観光、貿易について主体的に探究する態度を養う。	○指導事項 ・交通・通信 ・観光 ・貿易と経済圏 ○教材 ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 交通・通信、観光、貿易の特徴や傾向性を理解することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 交通・通信、観光、貿易等を諸資料の読み取り等を通して考察し、判断・表現することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 交通・通信、観光、貿易について主体的に探究できている。	○	○	○	6
単元 人口、村落・都市 【知識及び技能】 人口問題や村落・都市の成立、各問題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人口問題や村落・都市の成立、各問題等を諸資料の読み取り等を通して考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 人口問題や村落・都市の成立、各問題等について主体的に探究する態度を養う。	○指導事項 ・人口 ・人口問題 ・村落と都市 ・都市・居住問題 ○教材 ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 人口問題や村落・都市の成立、各問題について理解することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 人口問題や村落・都市の成立、各問題等を諸資料の読み取り等を通して考察し、判断・表現することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 人口問題や村落・都市の成立、各問題等について主体的に探究できている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1

雪谷 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

教科担当者：（1～7組：持丸）

使用教科書：（詳述 公共（実教出版））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	単元 社会を作る私たち 【知識及び技能】 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 社会に参画する自立した主体についての自覚を深める。	・指導事項 ・生涯における青年期の意義 ・青年期と自己形成の課題 ・職業生活と社会参加 ・現代社会と現代の生き方 ・教材 ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 【思考・判断・表現】 他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	7
	単元 人間としてよく生きる 【知識及び技能】 自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深める。	・指導事項 ・ギリシアの思想 ・人間の尊重 ・個人と社会 ・主体性の確立 ・他者の尊重 ・公正な社会 ・教材 ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	単元 社会とは何か 【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務などの基本的原理について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、基本的な原理について理解する。	・指導事項 ・人間の尊厳と平等 ・自由・権利と責任・義務 ・教材 ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、基本的な原理について理解しようとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	

雪谷 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科：公民 科目：政治・経済 単位数：2 単位
 対象学年組：第3学年 1組～7組
 教科担当者：（1～7組：小嶋）
 使用教科書：（高等学校 政治・経済（第一学習社））
 教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	政治・経済に関する概念や理論などを活用して、課題を把握し、身に付けた判断基準を根拠に構想したことの実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、よりよい社会の実現を視野に、国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元 現代政治のあり方 【知識及び技能】 政治や政治権力の意味とその役割、また基本的人権が確立した背景や経緯について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国家の統治原理として、法の支配や立憲主義を確立することの大切さについて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい民主政治のあり方について、諸課題の解決に向けて、社会に参画する自立した主体についての自覚を深める。	・指導事項 ・政治と法の意義と機能 ・法の支配と立憲主義 ・権利と義務との関係 ・人権獲得の歴史 ・議会制民主主義 ・教材 ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 政治や政治権力の意味とその役割、また基本的人権が確立した背景や経緯について理解している。 【思考・判断・表現】 国家の統治原理として、法の支配や立憲主義を確立することの大切さについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい民主政治のあり方について、諸課題の解決に向けて、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
単元 主権者としての政治参加のあり方 【知識及び技能】 民主政治の考え方や、議院内閣制や大統領制の特徴、さらに個人の人権尊重、自由や平等などの基本的人権と日本国憲法の内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 民主政治の考え方や、議院内閣制や大統領制の特徴についてや、日本国憲法と現代政治のあり方との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方について、現代社会の諸課題を主体的に解決する。	・指導事項 ・世界の政治体制 ・日本の政治機構と選挙制度 ・基本的人権の保障 ・日本国憲法 ・教材 ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等 ◆諸課題へのアプローチ 「主権者としての政治参加のあり方」	【知識・技能】 民主政治の考え方や、議院内閣制や大統領制の特徴、基本的人権と日本国憲法について理解している。 【思考・判断・表現】 民主政治の考え方や、議院内閣制や大統領制の特徴についてや、日本国憲法と現代政治のあり方との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
単元 市場経済の機能と限界 【知識及び技能】 資本主義経済の特質、株式会社のしくみと株主との関係、国民所得と経済成長、消費者の権利について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 市場の機能と限界や解決のあり方について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 経済活動の活性化について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決する。	・指導事項 ・資本主義経済の特質 ・格差問題 ・株式会社のしくみ ・国民所得と経済成長 ・消費者問題 ・教材 ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 資本主義経済の特質、株式会社のしくみと株主との関係、国民所得と経済成長、消費者の権利について理解している。 【思考・判断・表現】 市場の機能と限界や解決のあり方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済活動の活性化について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10

雪谷 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 公民 科目 公共演習

教科：公民 科目：公共演習 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～7組

教科担当者：（1～7組：小嶋）

使用教科書：（詳述 公共（実教出版））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	単元 日本国憲法の基本的性格 【知識及び技能】 各人の意見や利害を公平・公正に調整し、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 合意形成や社会参画を視野に入れながら、協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 法や規範の意義及び役割などの現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・指導事項 ・日本国憲法の成立 ・平和主義とわが国の安全 ・基本的人権の保障 ・人権の広がり ・教材 ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 【思考・判断・表現】 合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	単元 日本国の政治機構と政治参加 【知識・技能】 現実社会の事柄や課題を基に、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 【思考・判断・表現等】 主題を設定し、解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決する。	・指導事項 ・政治機構と国民生活 ・人権保障と裁判所 ・地方自治 ・選挙と政党 ・政治参加と世論 ・教材 ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成などに関わる現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	単元 経済活動のあり方と国民福祉 【知識及び技能】 現在の日本経済の現状と課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の社会保障制度の課題および労働問題や、労働環境をめぐる課題について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい日本の社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・指導事項 ・社会保障制度と福祉のあり方 ・労使関係と労働問題 ・教材 ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等 ◆諸課題へのアプローチ 「少子高齢社会における社会保障の充実・安定化/多様な働き方・生き方を可能にする社会」	【知識・技能】 現在の日本経済の現状と課題について理解している。 【思考・判断・表現】 日本の社会保障制度の課題および労働問題や、労働環境をめぐる課題について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい日本の社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>単元 国際政治の動向と課題</p> <p>【知識及び技能】 21世紀以降の国際社会の動向について、また国際連合の機能と主要機関の役割について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 今日の国際情勢の変化を受けて、国際連合はどのような役割を強化すべきかについて多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国際社会において日本がこれから果たすべき役割について構想し、</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の変遷 ・国際法 ・国際機構の役割 ・国際紛争 ・安全保障 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 21世紀以降の国際社会の動向について、また国際連合の機能と主要機関の役割について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 今日の国際情勢の変化を受けて、国際連合はどのような役割を強化すべきかについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国際社会において日本がこれから果たすべき役割について構想し、諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>単元 国際経済の動向と課題</p> <p>【知識及び技能】 貿易に関する比較優位の考え方、国際分業の利点、地域的経済統合の意義と課題について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国際経済の関係において、国益と地球的な規模での協調が求められている現状と問題点について多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい国際社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決する。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貿易の現状と意義 ・為替と国際収支 ・国際協調と国際経済機関の役割 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等 <p>◆諸課題へのアプローチ「日本の国際貢献のあり方」</p>	<p>【知識・技能】 貿易に関する比較優位の考え方、国際分業の利点、地域的経済統合の意義と課題について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 国際経済の関係において、国益と地球的な規模での協調が求められている現状と問題点について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい国際社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	<p>単元 人間としてよく生きる</p> <p>【知識及び技能】 自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深める。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギリシアの思想 ・人間の尊重 ・個人と社会 ・主体性の確立 ・他者の尊重 ・公正な社会 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。</p>	○	○	○	6
一般入試対策演習	<p>・センター試験や共通テストの過去問演習や私立大学入試の過去問演習などを通して、問題形式に慣れて適切に設問に解答できるように指導する。</p>		○	○	○	6	
定期考査			○	○		1	
3 学 期	一般入試対策演習	<p>・センター試験や共通テストの過去問演習や私立大学入試の過去問演習などを通して、問題形式に慣れて適切に設問に解答できるように指導する。</p>		○	○	○	14
						1	
						合計	
						70	